

令和5年度

大東中学校学校運営協議会委員による学校評価

(8名の委員のまとめ)

以下の項目を各小・中学校共通項目とします。学校における自己評価の結果や校長の説明、授業や行事の参観等を基に、評価と御意見をお書きください。

評価の方法は、それぞれの項目の視点の欄に次の記号で評価を記入していただき、御意見をお書きください。

4 : よくできている 3 : できている 2 : あまりできていない 1 : できていない

1 学校経営全体に関わること 評価 3.7点

視点① 学校の経営方針や目指す学校像・子ども像は、学校運営協議会委員と共有できている。 評価 3.6点

視点② 学校の教育目標、重点目標、学校の様子等を、学校便り等により保護者や地域に分かりやすく説明するなど、積極的に情報発信に努め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組んでいる。 評価 3.8点

ご意見

- ・大東中学校の学校教育目標は大変端的でわかりやすいです。伝統的な目標ですが、今の時代にも必要性を感じるものだと思います。何よりも、地域や保護者に浸透していて、たくましく聡明な大東中の生徒を連想します。毎日更新されるホームページや学校だよりで学校の様子がよくわかり親しみやすさを感じています。
- ・大東中だより「みしま」を毎月発行され、学校の情報を発信されており、地域のみなさんに理解されている。

視点③ 校長のリーダーシップの下、教職員が課題を共有し、学校の教育目標達成に向け、一丸となって取り組んでいる。 評価 3.6点

ご意見

- ・学校ホームページや学校だより等ICTを活用し、データやエビデンスに基づいた学校運営をされており、校長の熱い教育理念を感じます。
- ・出身校の校長先生として、強い愛着をもち、リーダーシップを発揮されている。先生方もいつも明るい笑顔で対応してくださりととても親しく楽し気な様子が伺えます。
- ・校長通信を職員に毎週発行されているので、教職員が現状把握しやすいと思います。
- ・学校経営はトップの強いリーダーシップの下で、めざす学校像や子ども像により強く近づいていく日々の努力が必要。従って当初の目的が遂行できているのか細かな評価や意見聴取、軌道の修正を必要としていないかを検証し続けていくことが必要。
- ・学校長の熱意が伝わってきて、大東中学校はよくなっていくだろうと思いました。来年度以降もよろしくお願いします。

2 自立した人間として生きていくための総合的な力「人間力」を育む教育の充実 評価 3.5点

視点① 学校は、あいさつ運動の推進や道徳教育の推進、いのち・人権を大切にする心の教育の推進および「いじめのない学校づくり」に向けていじめの未然防止・

早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる。 評価 3.6点

ご意見

- ・大東中の生徒はよく挨拶ができていて、学校帰りに地域で出会っても声をかけてくれます。また、いじめの未然防止や早期発見、早期解決に向けた取組により、重篤化はなく、全教職員の共通理解を図りながらの指導は評価に値する。
- ・「いじめバスターズ宣言」は、生徒会のすばらしい取組です。寸劇やパネルディスカッションなど工夫され、発展していかれるよう望みます。
- ・挨拶運動が浸透している。一人ひとりの意識が高く、継続して推進してほしい。
- ・いじめについて、生徒会を中心にいじめバスターズ宣言を行い、生徒たち自身がいじめを許さない風土を築いてきました。素晴らしいです。今日のSNSによる陰湿ないじめなど、教員より生徒たちからの発見の方が早いです。年々いじめの認知は増加しているということは、生徒たちが敏感になっているとも言えます。苦しんでいても、平成を装っている生徒がいなくなか頻繁に調査をしていく必要性を感じました。
- ・自信を持てること、自分が役に立っている、他の人に認めてもらっていることを実感できること。とにかくまずほめる。修正はそのあとでよい。子どもたちが主体的に動けるアシストをあきらめないこと。人についていくのではなく、自分が引っ張っていく意識をみにつけること。
- ・いじめ問題に対する取組が素晴らしいと思います。

視点② 学校は、児童生徒が社会性や規範意識を身に付け、望ましい勤労観や職業観を育てる系統的なキャリア教育に努めるなど、自己指導力を培う教育に積極的に取り組んでいる。 評価 3.8点

ご意見

- ・職場体験は発表会をされ、自己を発見（肯定感や有用感）できるよい機会だったと思います。
- ・職場体験は、今年度は30の多岐にわたる職場が協力くださり、選択肢が増えてよかったです。仕事の厳しさややりがいを感じて自分の将来を具体的に考えるきっかけになったことでしょう。

視点③ 学校は、児童生徒が運動やスポーツに親しみ、体力の向上を目指す教育の推進に取り組んでいる。 評価 3.1点

ご意見

- ・スポーツ少年団で活躍している子どもたちは学校の先生の指導だけでは充実した活動とは感じないと思われる。社会体育としてうまく伸ばせればよいのですが、指導者が不足しています。
- ・部活動については、先生方の負担も大きいので仕方ない部分もあるかとは思いますが、やはり部の数が少ないと思います。

視点④ 学校は、児童生徒の自己肯定感や自己有用感を育むための教育に取り組んでおり、児童生徒が将来にわたる夢や自分自身を社会に生かそうとする志をもつことにつながっている。 評価 3.4点

ご意見

- ・文化祭、体育大会等を生徒の力で運営させることで、与える教育ではなく、生徒に主体性をもたせて、「当事者意識」を身に付けさせている教育をされている。
- ・生徒が社会にでたとき、よりよく生きる力を身に付ける教育に取り組んでほしい。

3 個性を生かしつつ一人一人に確かな学力を育む教育の充実 評価 3.5点

視点① 学校は、市や全国の学力学習状況調査の結果を分析し、児童生徒の実態に応じた学力向上策を立て、新学習指導要領の実施に向けて、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育むため、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動を大切にしたり取組を行うなど授業改善に学校全体で取り組んでいる。 評価 3.6点

ご意見

- ・授業改善に学校全体で取り組まれた結果が保護者や生徒アンケートの結果に反映されていると思います。
- ・生徒の学校評価アンケートで、授業の内容がよくわかる（84.2%）と高い結果が出ている。指導されている先生方のご努力が伺える。
- ・全国学力調査の結果で滋賀県や全国を上回っていることは生徒の頑張りや教員の指導の賜物だと思います。月に1～2回の講師を呼んでの研究授業は、さぞや大変だと思いますが、マンネリ化を防ぎ教員の資質向上、生徒への刺激、学校全体の盛り上がりにつながると考えます。また、英語、数学が顕著だと思いますが、それぞれの生徒たちの理解レベルに差があるようです。細かな理解レベルの段階に分けた少人数指導で、どの子にも楽しく効率的な指導ができれば生徒たちの学習意欲が増し、また自己肯定感も高まると考えます。
- ・話す、聞く、読む、書く、大事ですね。あと一つ、自分が学んでいる内容を人に教えることで自分がどれだけその物事を習得しているか計れる。他の人に説明できる力が必要である。例えば、3年生が1年生授業を受け持つなど。
- ・授業に関しては、データを見るとわかりやすいと答えている生徒が多いのですばらしいと思います。

視点② 学校は、英語教育に特に力を入れ、児童・生徒のコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に積極的に取り組んでいる。 評価 3.3点

視点③ 学校は、特別支援教育推進のため、管理職および特別支援教育コーディネーターを中心に、組織的に取り組み、生活や学習上の困難を克服するための適切な個別の教育的支援を行い、個々の能力を最大限に伸ばす指導を行っている。

評価 3.6点

ご意見

- ・特別支援については、地域の中心の役割を担い一人ひとりの個性・特性を大事に指導をなされています。

4 地域に根ざし地域に開かれた信頼される学校の創造 評価 3.6点

視点① 学校は、地域の人材を生かした学校運営と学習活動の工夫に積極的に取り組み、郷土の自然や文化・伝統を生かした教育活動の推進など特色ある学校づくりを推進している。 評価 3.8点

ご意見

- ・地域の人材を生かした学校運営や取組は、生徒たちが新たな気づきや発見をすることで郷土愛を育むことができたと同時に地域の人々の学校に対する理解と関心も深まって、生徒の自主性や地域に貢献しようとする心が着実に育まれていると感じました。
- ・地域の行事がコロナ禍で縮小されているが、太鼓踊りや茶道教室、三島池の歴史学習などを地域の方に来校していただき、体験できてよかったと思う。今後は地域の行事にボランティアに進んで参加できるような手立てを考え工夫してほしい。
- ・地域の歴史や文化を学び、自分たちの環境について知識を深めて、地域と共有できるようになるような教育活動になってほしい。
- ・教育活動に地域の方々を取り込んで、机・いすの製作、豊年太鼓の実演会、保護者と一緒の茶道体験がありました。茶道体験を手伝いましたが、少しでも生徒の自主的な参加がで

きるようにとの考えのもと、生徒たちにも茶会運営を手伝ってもらい、喜んでいただきました。もし機会があるならば、次は生徒たちに更に主体的に参加できるような体験を考えたいです。

- ・実際はそれほど多くの交流の場はない。（登下校ぐらい、不思議と中学生は地域から姿が消える）→①地域の住民が学校に行きやすくする仕組みづくり、②生徒が教室を出て、地域で学習する機会を増やす。
- ・地域とのつながりは大事だと思いますし、子どもたちも親や先生以外の大人と接するいい機会だと思います。

視点② 学校は、安全・安心な学校づくりに向け、職員研修の実施や家庭・地域・PTAとの連携による取組により、児童生徒の安全を確保している。 評価 3.6点

ご意見

- ・令和6年度は防災教育に力を入れ、地域を巻き込んで「かまどベンチづくり」に取り組むとのことですが、ぜひ実現させてください。
- ・朝の交通指導・挨拶運動は、すでに学区の通学路で安全指導をされている小学校のスクールガードのボランティアの方々に協力していただいたらどうでしょうか。散歩中の地域の方にも協力していただき地域一体で盛り上がるのがりそうです。

視点③ 学校は、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用し、地域コーディネーターを中心に学校を支援する体制づくりに努め、積極的に地域に働き掛け、創意工夫があり実りのある教育フォーラムを開催するなどしている。 評価 3.5点

5 その他

「知・徳・体の調和のとれた米原の子どもの育成」に向けての御意見や御提言、また、各学校や教育委員会への要望などがあればお書きください。

ご意見

- ・教育委員会への要望です。学習環境の整備について現状を聞きました。①老朽化した教室の生徒用ロッカーについて、入りきらない教材等の収納ができるよう現状にあったものに更新したい。また、黒板についてもホワイトボードに変更したい。②不登校対策について、別室指導できる人員がたりていないため人員配置をお願いしたい。以上のことについて、予算措置等のご配慮をお願いしたい。
- ・大東中の生徒は掃除の意欲も素晴らしく、トイレ掃除も保健委員会を中心に頑張っています。ただ古くなってきたので、限界があります。教室備品としては、アレルギーの生徒のためにチョーク粉の出ないホワイトボードを、また廊下まではみ出ている生徒の荷物の入る大きめの使いやすい個別ロッカーを設置していただくと安心して学校生活に打ち込めるでしょう。さらに、どの子ども楽しくわかる授業推進のため、学力レベルに応じた少人数指導ができるように教員の補充をしていただくと現教員の働き方改革につながると考えます。
- ・学級内の黒板がホワイトボードになった方がよい。
- ・ロッカーが少し狭いようです。荷物の置き場所が別に作れるとよい。
- ・デジタル教育格差がでないようにきめ細かいサポートをしていただきたい。
- ・自然災害が相次ぎ、災害時に避難所になる可能性が高い学校現場の防災対策がますます求められ、教員等が避難所運営を求められる場合もでてくるので学校主体の防災が必要である。そのためにも学校整備を進めていただきたい。
- ・まだまだ学校は地域からすると閉鎖性を感じる。情報発信が重要。先生方の努力はよく伝わっている。しかし、地域が求めている情報なのかと言えばそうでないものも多い。先生の文章には毎回なるほどと感ずるものがあるが少々くどい。もっと簡潔でわかりやすい文章なら読める。情報発信も指導側だけがおこなうのではなく、生徒にも一部任せてみるのも一つではないか。子どもたちの文章なら地域の人も楽しく読むのではないか。